USER'S GUIDE 2620

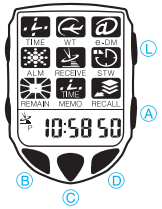
CASIO

デモ機能について

本機は工場出荷時に「デモ（デモンストレーション）機能」に設定してあります。
デモ機能では時計の機能の一部を自動的に表示し続けます。
※デモ機能中は通常のボタン操作はできません。

●デモ機能の解除
いずれかのボタンを押します。

●デモ機能の設定
メニューモードのとき、Ⓐ ボタンと Ⓒ ボタンを同時に押します。



ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓛ ボタンを押すと約 1.5 秒間文字板が発光します。
➡暗いところでも表示を見ることができます。



■ご注意■
- ●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

詳しい使い方は、各項目をご覧ください。

■モード切り替えについて

1. 切り替えたいモードのアイコンを選ぶ

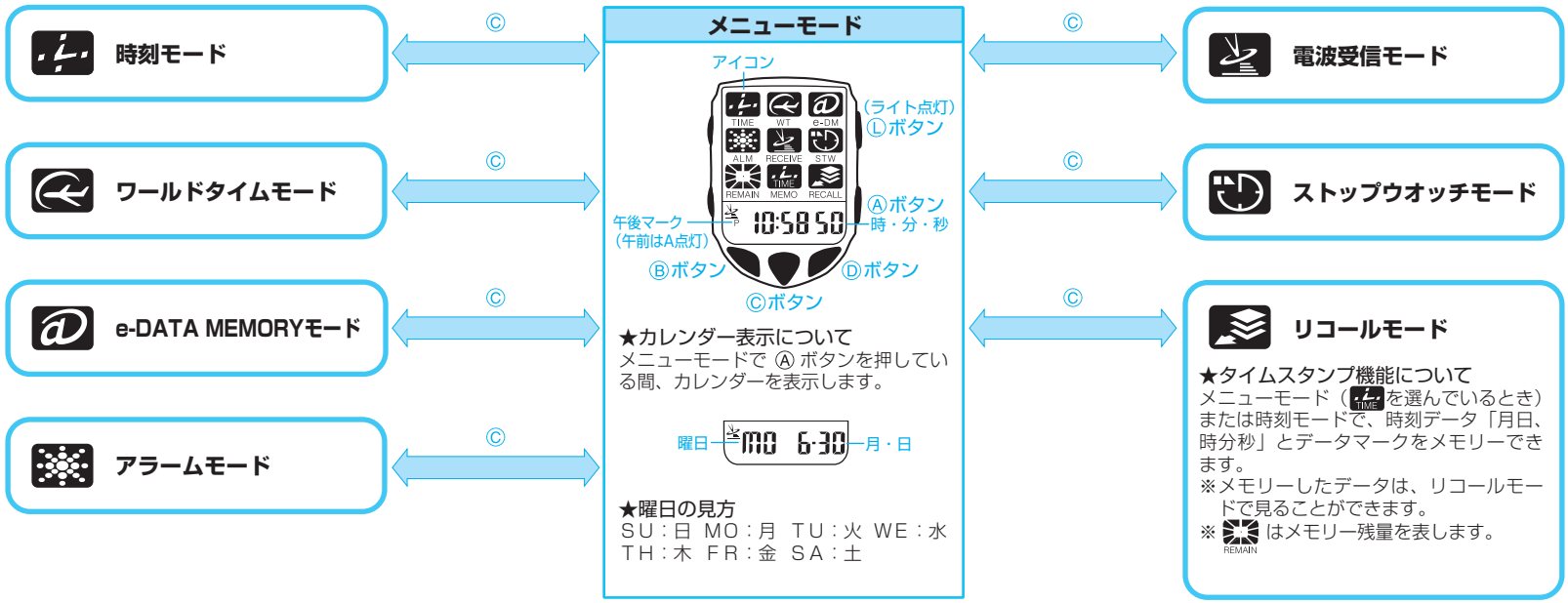
メニューモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに、点滅箇所が移動しますので、切り替えたいモードのアイコンを点滅させます。
※ 点滅表示のまま約 10 秒すると、自動的に点滅が止まります。

2. モードを切り替える

Ⓒ ボタンを押します

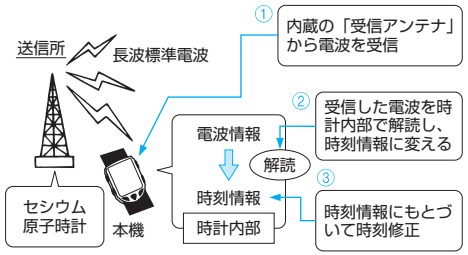
➡選択したモードに切り替わります。
※ アイコンの点滅が止まっていても、Ⓒ ボタンを押すと選択したモードに切り替わります。
※ 他のモードに切り替えてから再びメニューモードに戻すには、Ⓒ ボタンを押します。
※ e-DATA MEMORYモード、アラームモード、電波受信モード、リコールモードのまま2～3分すると、自動的にメニューモードに戻ります。



電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州のFort Collinsから送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

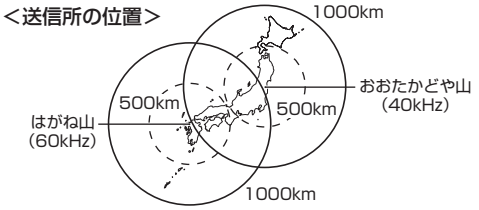
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます。（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）

＊ ホームタイム都市の設定については「■ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

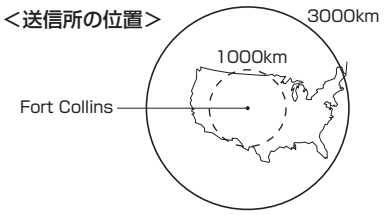
ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
LAX、DEN、CHI、NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

＜送信所の位置＞



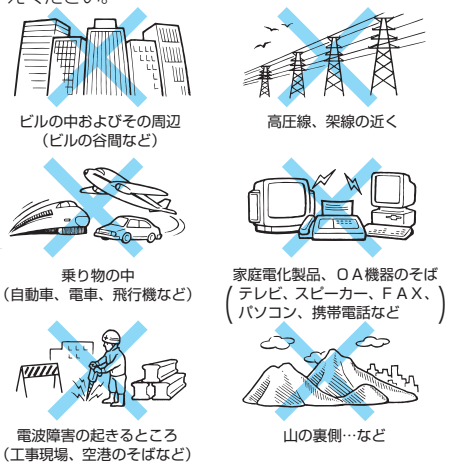
●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約1,000kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

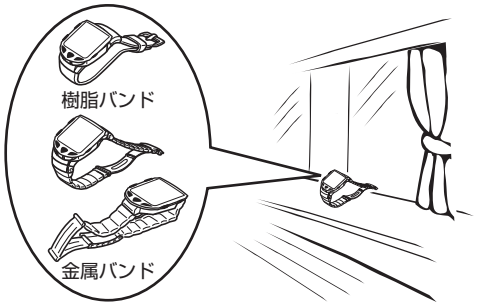
■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。
1 自動受信（午前２・４・５時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部（12時位置のアンテナ）を外に向けて窓際に置いてください。



●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ２～６分です。

※ただし、受信電波の設定で「FREQ. 40:60（自動選局）」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

＊ 受信電波の設定については「■受信電波を選ぶ」参照。

●手動受信

メニューモードのとき Ⓓ または Ⓑ ボタンで を点滅させてから、

Ⓒ ボタンを約２秒間押し続けます

➡確認音が鳴り、受信を開始します。
受信中は受信マーク“ ”が変化します。



★受信を中止するときは

Ⓒ ボタンを押します

※受信中は Ⓒ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

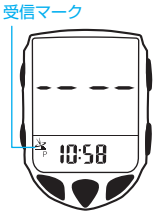
成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。
※受信マーク“ ”が点灯します。

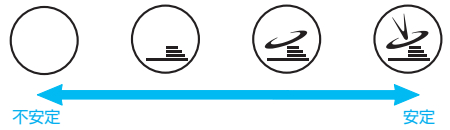
★受信が失敗すると

時刻修正は行なわれず、“ERROR”を表示します。
※何も操作をしないと、1～2分後メニューモードに戻ります。

●受信マーク

受信中は受信状態によって受信マークが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

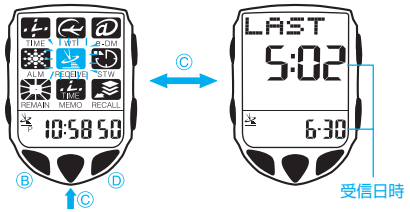
●受信マークは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

メニューモードのとき Ⓓ または Ⓑ ボタンで を点滅させてから、

Ⓒ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※メニューモードに戻すには、もう一度Ⓒボタンを押します。
※何も操作をしないと、2～3分後メニューモードに戻ります。



ご注意

●本機は「時·分·秒」と「年·月·日」の情報を受信しますが、電波状況により「時·分·秒」のみ受信する場合があります。
●"" マークは「時·分·秒」と「年·月·日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時·分·秒」のみ受信したときは点灯しません。

「時・分・秒」「年・月・日」を受信	点灯する
「時・分・秒」のみ受信	点灯しない

●「時・分・秒」のみ受信した場合、受信日時の確認で表示される月日は、受信時に時刻モードで表示していた月日となります。

■受信電波を選ぶ

ホームタイム都市をTYO（東京）に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。
*ホームタイム都市の設定については「■ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。
※工場出荷時には、「ホームタイム都市＝TYO（東京）、受信電波＝FREQ. 40:60（自動選局）」でセットされています。

1. 電波受信モードにする

メニューモードのとき Ⓓ または Ⓑ ボタンで を点滅させてから、

Ⓒ ボタンを押します

➡電波受信モードに切り替わり、受信日時を表示します。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡受信電波の設定になります。



3. 受信する電波を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、受信する電波を選びます。



●FREQ. 40:60 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます（自動選局）。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
●FREQ. 40 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」からの電波のみ受信します。
●FREQ. 60 「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のみ受信します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ メニューモードに戻すには、Ⓒ ボタンを押します。
※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

■自動受信のON／OFF設定

1. 電波受信モードにする

メニューモードのとき Ⓓ または Ⓑ ボタンで を点滅させてから、

Ⓒ ボタンを押します

➡電波受信モードに切り替わり、受信日時を表示します。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡受信電波の設定になります。



3.「自動受信切替」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡自動受信の切り替えになります。



4. ON／OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに自動受信の ON／OFF が切り替わります。



●AUTO On 自動受信は ON になります。
●AUTO OFF 自動受信は OFF になります。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ メニューモードに戻すには、Ⓒ ボタンを押します。
※ 点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

■受信に関するご注意

●自動受信はメニューモード、時計モード、ワールドタイムモードでのみ行なわれます。
●自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。
●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。
●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
●電波受信を行なわないときは、平均月差±15秒以内の精度範囲で動きます。
●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
●本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

原因：・メニューモードで を選んでいないと、手動受信はできません。
・ホームタイム都市が TYO、NYC、CHI、DEN、LAX 以外のときは、手動受信はできません。

処置：・手動受信はメニューモードで を選んでから行なってください。
・ホームタイム都市が TYO、NYC、CHI、DEN、LAX のとき、手動受信を行なうことができます。「■ホームタイムデータ（時刻·カレンダー）の合わせ方」からの設定をご覧になり、ホームタイム都市を合わせてください。

「自動受信ON」に設定しているのに""マークが消えている

原因：・"" マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
・一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません（毎日午前 3 時に消えます）。
・"" マークは「時·分·秒」と「年·月·日」の情報を両方受信したときに点灯します。「時·分·秒」のみ受信したときは点灯しません。
・自動受信のとき、メニューモード、時刻モード、ワールドタイムモード以外のモードになっていた。

処置：・電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
・「受信成功」しやすい環境で使用してください。
・自動受信を行なうときは、メニューモード、時刻モード、ワールドタイムモードにしておいてください。
・手動で時刻修正をすると、"" マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：・サマータイムが ON になっているか、ホームタイム都市設定を間違えていませんか。

処置：・1 時間進んでいるとき（DST マーク点灯）はサマータイムが ON になっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市を間違えています。
「■ホームタイムデータ（時刻·カレンダー）の合わせ方」からの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

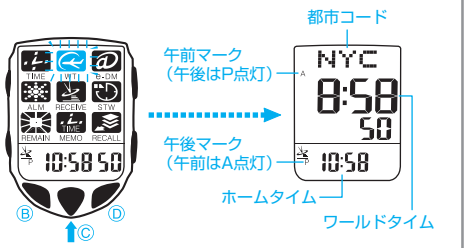
●電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。
※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

自動受信	AUTO On	自動受信ON
受信電波	FREQ.40:60	日本の標準電波（40kHz/60kHz）を自動選局
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	AUTO	電波受信による自動切替

ワールドタイムの使い方

以下の操作はワールドタイムモードで行ないます。

メニューモードのとき、ⒹまたはⒷボタンで を点滅させてから、Ⓒ ボタンを押してワールドタイムモードにします。



ワールドタイムモードでは、世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」はホームタイム（基本時刻）の「秒」に連動しています。
※時刻モードが24時間制のときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■都市のサーチ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。各都市の時刻が表示されます。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



■ご注意■

ワールドタイムとホームタイムは連動しています。ワールドタイムが合っていないときは、ホームタイムおよびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

*ホームタイムデータの合わせ方については「■ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方」参照。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡ⒶボタンをⒶ約1秒間押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※ サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯します。

※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。
ただし、"GMT" 表示のときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

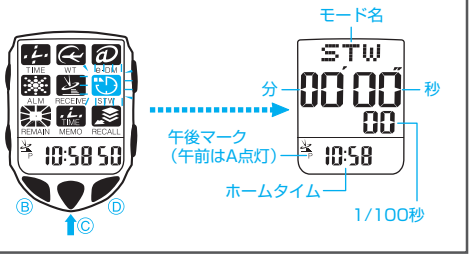
コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	-11		JRS	+2	エルサレム
HNL	-10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	-9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	-8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	-7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
RIO	-3	リオデジャネイロ	RGN	+6.5	ヤンゴン
---	-2		BKK	+7	バンコク
---	-1		HKG	+8	香港
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	TYO	+9	東京
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は 2002 年 6 月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

ストップウオッチの使い方

以下の操作はストップウオッチモードで行ないます。

メニューモードのとき、ⒹまたはⒷボタンで を点滅させてから、Ⓒ ボタンを押してストップウオッチモードにします。



ストップウオッチモードでは、1/100 秒単位（1 時間以上になると 1 秒単位）で23時間59分59秒（24時間計）まで計測できます。

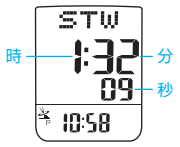
※計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。
※計測値が 1 時間以上になると、表示単位が「時・分・秒」になります。

■計測のしかた

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。





例）計測値が1時間以上の場合

※計測終了後Ⓑボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

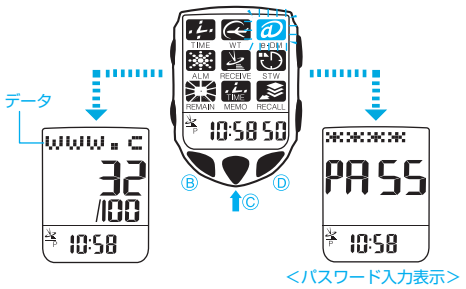
Ⓓ（スタート） → Ⓓ（ストップ） → Ⓑ（リセット）

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

e-DATA MEMORY の使い方

以下の操作は e-DATA MEMORY モードで行ないます。

メニューモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンで @ を点滅させてから、Ⓒ ボタンを押して e-DATA MEMORY モードにします。



<パスワード入力表示>

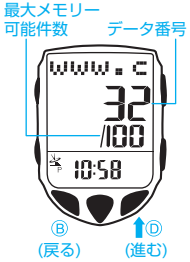
＊パスワード入力表示に切り替わったときは、「●パスワードの入力」をご覧ください。

e - DATA MEMORYモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータ（最大63文字）を100件までメモリーできます。
4桁の番号を入力しないと操作を行なうことができないパスワード機能があり、他人に見られたくないデータ保存に便利です。

■ データのサーチ

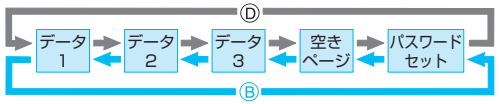
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにページが進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。



※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ データを6文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。
※ データ入力をしたページと空きページ、パスワードセットのページを表示します。なお、データを1件も入力していないときは、空きページとパスワードセットのページのみ表示します。

例）データを3件入力したとき



■ データの入力

データを入力すると、順番に並び替え（**自動ソート***）が行なわれますので、データを探すときにたいへん便利です。

＊**自動ソート**…記憶されたデータは先頭から8文字を比較し、自動的に整理されます。
比較順序は（空白）、英小文字（a～z）、英大文字（A～Z）、数字（0～9）、記号（＊－＿@ˇ ／＼？＃！%.：；’，” ^ &＝＋ ()）です。

1. 空きページを表示させる

Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

➡空きページになります（右図）。

※ すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されているときは、空きページ表示になりません。

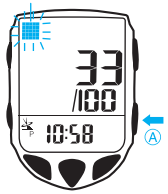
<空きページ>



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

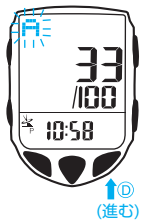
➡データの 1 桁目が点滅します。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



★入力できる文字について
（空白）
英小文字…a～z
英大文字…A～Z
数字……0～9
記号……＊－＿@ˇ ／＼？＃！%.：；’，” ^ &＝＋ ()

4. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅箇所が右に 1 つ移動します。
※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。



Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返して、データを入力します。

※データは 1 件につき最大 63 文字まで入力できます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡“SORT” 表示（自動ソート）後、データを表示します。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。
※ 続けて他のデータを入力したいときは、1～5の操作を繰り返し行ないます。

■ データの修正／消去

1. Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

2. Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡データの 1 桁目が点滅します。

3. データを修正／消去する

★データ修正➡Ⓒ ボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓ ボタンを押して正しい文字を表示させます。
★データ消去➡Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。“CLEAR” 表示後、データが消去されます。
※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。
※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. 修正／消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます

■ パスワード機能について

パスワード機能とは、4 桁の番号を入れないとデータを呼び出せない機能です。
他人に見られたくないデータ保存に便利です。

●パスワードの登録（パスワード機能の設定）

1. パスワードセットのページにする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡パスワードの 1 桁目が点滅します。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。もう一度 Ⓐ ボタンを約1秒間押して、登録の操作を引き続き行なってください。



3. パスワードを入力する

a. 数字を入れる

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



b. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅箇所が右に 1 つ移動します。
※ 数字を入力してから桁を移動させてください。



a. ～ b. の操作を繰り返して、パスワードを入力します。

4. 登録をする

4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡パスワードセットのページになり、登録完了です。

※4桁の番号を入力後、必ずⒸボタンを押して登録を完了させてください。

※パスワード登録後、他のモードへ切り替えてから再びe-DATA MEMORYモードに戻ると、パスワード入力表示となります。

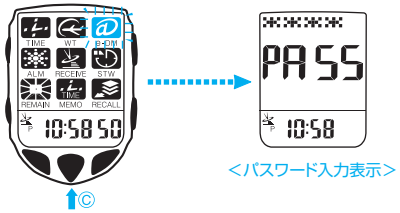


■ご注意■

●パスワードを忘れると入力したデータを見ることができなくなります。パスワードは、別の形で書き留めておくことをおすすめします。

●パスワードを忘れてしまった場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。パスワードを初期化する必要があります（初期化しても入力したデータは保持されます）。

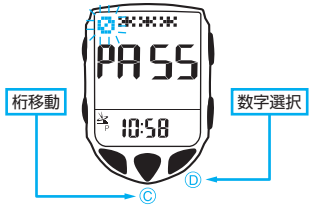
●パスワードの入力



<パスワード入力表示>

1. パスワード入力表示のとき、

登録時と同様に、「●パスワードの登録（パスワード機能の設定）」a.～b.の操作を繰り返して、前回登録したパスワードまたは「0000」を入力します。



※数字を入力してから桁を移動させてください。

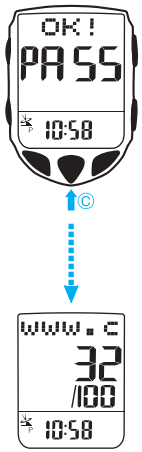
2. 4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡パスワードが合っているときは、"OK！" 表示後、データを表示します。

➡パスワードが間違っているときは、"ERROR" 表示後、パスワード入力表示に戻りますので、もう一度操作をやり直してください。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



※e-DATA MEMORYモードに切り替えてから、すぐにデータを表示させたいときは、パスワードを消去してください（「●パスワードの消去（パスワード機能の解除）」参照）。

●パスワードの変更

パスワードは、変更することができます。

※パスワードを変更しても、データに影響はありません。

準備：「●パスワードの入力」の手順で、前回登録したパスワードまたは「0000」を入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

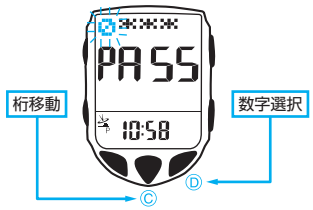
➡パスワードの 1 桁目が点滅します。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



3. 新しいパスワードを入力する

登録時と同様に、「●パスワードの登録（パスワード機能の設定）」a.～b.の操作を繰り返して、新しいパスワードを入力します。



※数字を入力してから桁を移動させてください。

4. 変更をする

4桁の番号を入力しましたら、

Ⓒ ボタンを押します

➡パスワードセットのページになり、変更完了です。

※4桁の番号を入力後、必ずⒸボタンを押して変更を完了させてください。



●パスワードの消去（パスワード機能の解除）

準備：「●パスワードの入力」の手順で、前回登録したパスワードまたは「0000」を入力して、データを表示させます。

1. パスワードセットのページにする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押して、パスワードセットのページにします（右図）。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡パスワードの 1 桁目が点滅します。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

3. パスワードを消去する

Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

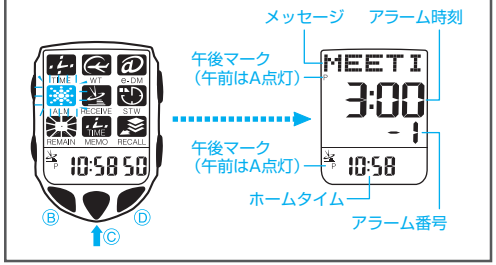
➡"CLEAR" 表示後、パスワードが消去されます。



アラーム・時報の使い方

以下の操作はアラームモードで行ないます。

メニューモードのとき、ⒹまたはⒷボタンで を点滅させてから、Ⓒ ボタンを押してアラームモードにします。



※メッセージを入力したときは、“ALM” または “SNZ” を表示後、メッセージを表示します。
※メッセージを６文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。

■ アラームの使い方

時分とメッセージ（最大８文字）をセットでき、セットした時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。
※メッセージを入力したときは、アラーム報音と同時に、時刻モードで１分間メッセージを表示します。

●アラームの種類

本機には、５本のアラームがあり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

★通常アラーム（アラーム１～アラーム４）
設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴ります。

★スヌーズアラーム
設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴り、５分おきに合計７回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

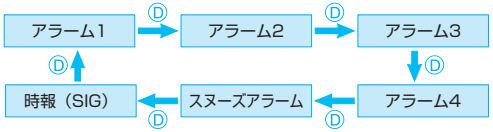
●アラームのセット

1. アラームを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。





2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約１秒間押します

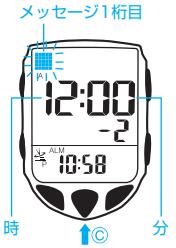
➡「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームがONになります。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





4. 点滅箇所をセットする

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字（文字）が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ ボタンを押して数字（文字）を入力する操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
※時刻モードが24時間制のときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。
※メッセージは最大８文字まで入力できます。
*入力できる文字については「■データの入力」参照。
※表示が点滅しているとき、Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押すと、メッセージが消去され、アラーム時刻が午前 12：00 になります。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

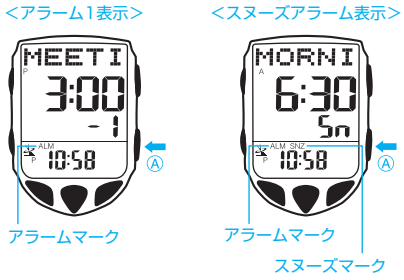
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラームの ON／OFF 設定

準備：Ⓓボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとにアラームの ON／OFF が切り替わります。
※アラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。
※スヌーズアラームのときは、スヌーズマークも点灯します。



●モニターアラーム

Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

●設定した時刻になると

設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴ります。
※メッセージを入力したときは、アラーム報音と同時に、時刻モードで１分間メッセージを表示します。



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。
※スヌーズアラームの時は、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
※「●アラームのON／OFF設定」の手順でスヌーズアラームを OFF にすると、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

ご注意

●スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

（・時刻モードでセット状態に入る。
・スヌーズアラームでセット状態に入る。）

●時刻モードでは音を止めてもメッセージを１分間表示し続けます。メッセージ表示中にモード切り替え等で表示を切り替えるとメッセージ表示を中断します。

■ 時報の使い方

毎正時（00 分）に “ピッピッ” と電子音を鳴らすことができます。

●時報 ON／OFF 設定

準備：Ⓓ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタン押すごとに時報の ON／OFF が切り替わります。
※ 時報マークが点灯しているときが ONとなり、時報が鳴ります。



タイムスタンプ機能の使い方

■ タイムスタンプ機能について

タイムスタンプ機能とは、時刻データ「月日、時分秒」とデータマークを 100 件までメモリーできる機能です。
メモリーしたデータは、内容に合わせてデータマークを点灯させることや、メモ（最大８文字）を入力することができます。
時刻を覚えておくときに大変便利です。

■ 時刻データをメモリーする

メニューモードまたは時刻モードでメモリーすることができます。

1. メモリーする

★メニューモードのときは…

Ⓓ または Ⓑ ボタンで TIME を点滅させてから、

Ⓒ ボタンを約 1 秒間押します

➡“SAVE”表示後、そのときの「月日、時分秒」をメモリーします。



★時刻モードのときは…

Ⓓ ボタンを約 1 秒間押します

➡“SAVE”表示後、そのときの「月日、時分秒」をメモリーします。



※メモリー後、“⏲”マークが点滅します（右図）。
※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まり、元のモード（メニューモードまたは時刻モード）に戻ります。
続けてメモリーすることができます（ただし、前回メモリーしたデータのデータマークを設定することはできません）。



“⏲”マークが点滅

2. データマークを設定する

“⏲”マークが点滅しているとき

Ⓑ ボタンを押します

➡データマークの設定になります。Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が移動しますので、設定したいデータマークを点滅させます。
※ データマークを設定しないときは、フリー“FREE”を選びます。



* “MONEY”が点滅しているときに Ⓑ ボタンを押すと、上段に“FREE”が表示されます。

★データマークについて

CAR（車）	CARE（注意）	EVENT（イベント）
PILL（薬）	WORK（仕事）	PERSON（人物）
PLAY（遊び）	MEAL（食事）	MONEY（お金）

3. 操作を終わる

Ⓒ ボタンを押します

➡メモリー完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まり、元のモード(メニューモードまたは時刻モード)に戻ります。

★データ自動入れ替え

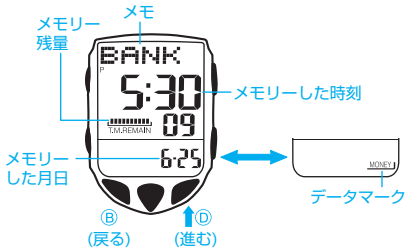
記憶件数が 100 件を越えると、一番古いデータが消去され、最新データがメモリーされます。

■ 時刻データを見る

メモリーしたデータは、リコールモードで記憶した順に見ることができます。
※リコールモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。ただし、メモリーした直後は最新のデータを表示します。

リコールモードのとき、ⒹまたはⒷボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにデータが進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りします。
※データマークを設定したときは、月日とデータマークを交互に表示します。
※メモを６文字以上入力したときは、右から左へ流れて表示されます。



ご注意

リコールモードでは、アラームマーク・時報マーク、受信マークの点灯は行ないません。

■ メモを入力（修正）する

メモの入力はリコールモードで行ないます。

1. データを選ぶ

リコールモードのとき

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押して、設定したいデータを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡メモの 1 桁目が点滅します。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



4. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡点滅箇所が右に 1 つ移動します。
※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。



Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返して、メモを入力（修正）します。

※メモは最大８文字まで入力できます。
*入力できる文字については「■データの入力」参照。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡“SAVE”表示後、入力したデータを表示します。
※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 時刻データの消去

時刻データの消去はリコールモードで行ないます。

1. データを選ぶ

リコールモードのとき

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押して、消去したいデータを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

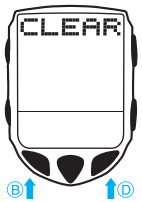
➡メモの 1 桁目が点滅します。



3. データを消去する

Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します

➡“CLEAR”表示後、データが消去されます。
※ データ消去後は、時刻データ表示に戻ります。



■ メモリー残量表示について

メニューモード、時刻モード、リコールモードで時刻データのメモリー残量を表示します。
※グラフ表示は、黒く点灯している部分がメモリー残量となります（10 段階表示）。

例）メニューモードの場合



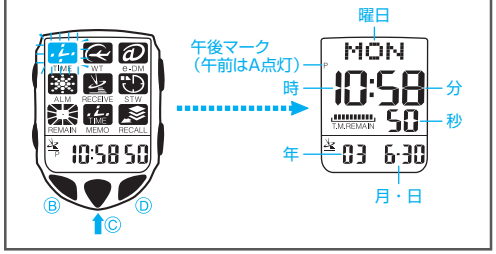
例）時刻モード、リコールモードの場合



時刻モードについて

以下の操作は時刻モードで行ないます。

メニューモードのとき、ⒹまたはⒷボタンで を点滅させてから、Ⓒ ボタンを押して時刻モードにします。



時刻モードでは、時刻・カレンダーを表示します。

※時刻モードで、時刻データ「月日、時分秒」とデータマークをメモリーすることができます（タイムスタンプ機能）。

* タイムスタンプ機能については「■タイムスタンプ機能について」参照。

■ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等をセットすることです。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「秒」が点滅します。



2. 「秒」合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの調整

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➡00秒からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒からスタートします。

* 時報は「時報サービス 117 番」が便利です。



3. サマータイムを設定する

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの設定になります。

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。

* サマータイムについては「■サマータイム（DST）について」参照。



● OFF
サマータイムは OFF になります（通常時間）。

● ON
サマータイムは ON になります（夏時間）。

※ DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

● AUTO
電波受信により、自動的にサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※ホームタイム都市が TYO のときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAX のときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。

* アメリカのサマータイム期間＝4 月の第 1 週目曜日の AM2:00～10 月の最終日曜日の AM1:00

※ホームタイム都市が HKG、TYO、SEL、NYC、CHI、DEN、LAX、ANC、HNL以外のときは、「OFF」⇔「ON」で表示が切り替わります。

4. ホームタイム都市設定を設定する

Ⓒ ボタンを押します

➡「都市コード」が点滅します。

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

* 「■都市コード一覧」参照。

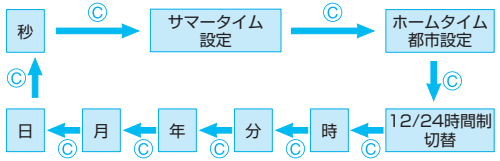


5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。





b. Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。



Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ ボタンを押して数字を入力する操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「12/24 時間制切替」は、Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示（12H）と 24 時間制表示（24H）が切り替わります。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は 2000～2099 年の範囲内でセットでき、西暦下 2 桁を入力します。

※曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。